

大阪府豊能郡能勢町における基本計画の概要

計画のポイント

能勢町は町域の大部分が市街化調整区域に指定されており、美しい農村風景や豊かな自然が守られてきた。一方でまとまった規模の産業用地の確保や宅地の開発に制約を受けているため、新たな産業の誘致や住民の定住促進に課題が生じている。

さらに、人口の減少、高齢化の加速、及び農業分野における後継者不足といった問題が深刻化する中で、魅力ある地域の資源を次世代に引き継ぐためには、農的環境の維持・保全を図るとともに、地域の特性や既存資源を活かした多様な就労機会の創出が重要となる。

これに対応するため、市街化区域に近接した幹線道路の沿道にある農地を規制対象区域（農振農用地）から除外し、多様な産業を誘致する用地として活用を図るとともに、持続発展できる強い町内産業をつくりだし、就労機会の拡大や活力ある地域づくりを目指す。

促進区域

大阪府豊能郡能勢町

経済的効果の目標

1件あたり6,889万円の付加価値額を創出する地域経済牽引事業を1件創出し、これらの地域経済牽引事業が促進区域内に1.25倍の波及効果を与え、促進区域で約86百万円の付加価値を創出することを目指す。

地域経済牽引事業の承認要件

【要件1：地域の特性を活用すること】

【地域の特性】大阪府、京都府、兵庫県の結節点にあり、近畿圏全体へアクセスしやすい、高速道路インターチェンジ等の交通インフラ

【活用戦略】製造業など新たな産業を生み出すまちづくり

【要件2：高い付加価値を創出すること】

●付加価値増加分：6,889万円超

【要件3：いずれかの経済的効果が見込まれること】

●売上：5%増加 ●雇用者数：4%増加

●雇用者給与等支給額：4%増加

制度・事業環境の整備

企業誘致に係る優遇制度、大阪府オープンデータカタログサイト、産業集積促進市町村連絡会議

地域経済牽引支援機関

能勢町商工会、町内金融機関（㈱池田泉州銀行）、国立研究開発法人産業技術総合研究所

《促進区域図》



計画期間

計画同意の日から
令和13年度末日まで